

主体的・対話的で深い学びの実現

主体的な学びが実現できているか

たとえば、**子どもからの「問い」**を基にして授業を進めたのに、次のような子どもの姿を目にすることはないか、**振り返って**みましょう。



ある

自分から調べたり友と関わったりする姿が見られない。



ある

一つ一つの活動について、何をやればよいか聞いてくる。

こんな姿も

この姿が生まれる理由を「**子どもの視点**」から**掘り下げて**みましょう。

その子にとって解決していきたい「問い」になっていたでしょうか？

その子は追究の方法や見通しを持って活動していたでしょうか？

こんな理由も

「**子どもの視点**」に立って見直した内容を**交流**してみましょう。

メモ



【参考】「**主体的な学び**」の視点

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているかという視点。
(文部科学省「小学校学習指導要領解説 総則編」平成29年6月)

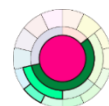
試みたいこと

「**主体的な学びが実現できているか**」という着眼点で「**子どもの視点**」から授業づくりをする際に心に留めておきたいこと、新たな選択肢として試みたい実践などを記入しておきましょう。

「**子どもの視点**」に立って、自分の実践を**見直して**みましょう。

[Blank area for reflection notes]

(研修実施日 年 月 日 氏名)



長野県教員育成指標との関連

「主体的な学びが実現できているか」は、E「教育のプロ」としての高度な知識や技能の〈学習指導〉⑧〈指導方法〉Doに関連しています。